ふりがな さとう もとひろ

氏名 佐藤 主光

■ 1. 学歴

1992年 3月 一橋大学経済学部卒業

1992 年 4 月 一橋大学経済学研究科修士課程入学

1994年 3月 一橋大学経済学研究科修士号取得

1994年 4月 一橋大学経済学研究科博士課程入学

1995 年 9 月 クイーンズ大学(カナダ)経済学部博士課程入学

1998 年 5 月 クイーンズ大学(カナダ)経済学部 Ph. D 取得

1998 年 12 月 一橋大学経済学研究科博士課程退学

■ 2. 職歴·研究歴

1999 年 1月 一橋大学経済学研究科専任講師

2002 年 4 月 一橋大学経済学研究科助教授(2007 年 4 月より准教授)

2009 年 10 月 一橋大学経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

地方財政論,財政学

(b) 大学院

公共経済学,医療保険論,地方財政(アジア公共政策大学院)

B. ゼミナール

学部後期,大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

講義は、関連する経済問題(財政・地方分権など)に対する経済学の視点の提供を目的としている。よって、単に理論モデルを展開するに留まらず、それを用いて現実を如何に理解するかを強調していく。また、学生の問題意識を高めるために、制度(税制度など)・データを紹介しつつ、講義において紹介する。学生には、経済学を通じて論理的思考を身につけてもらいたいと考える。ゼミは、3年次の夏学期に公共経済学のテキストを輪読、夏休み前に卒論のテーマを決める。夏休み中に課題とする英語の文献を与え、冬学期以降、ゼミにおいて報告してもらう。3、4年の関係を重視し、夏学期から4年のゼミにも3年生に参加してもらい、また、3年生の報告においては4年生にコメンテイターをしてもらっている。週一回のゼミに加え、学生に対する個人指導も行っている。

4. 主な研究テーマ

- (1)地方財政理論(地方分権の理論)
- (2)最適課税論
- (3)社会保障(医療経済学)

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書·編著

『地方交付税の経済学:理論・実証に基づ(改革』有斐閣,2003年(赤井伸郎・山下耕治との共著)。

『地方財政論入門』,新世社,2008年。

『財政学』,放送大学出版,2009年。

(b) 論文(査読つき論文には*)

[査読付き論文]

- *「報酬の一部がフリンジ・ベネフィットである場合の最適線形所得税」(田近栄治との共著) 『経済研究』第 49 号第3号,1998年,231-244頁。
- * "Subsidies versus Public Provision of Private Goods as Instruments for Redistribution," *Scandinavian Journal of Economics*, Vol. 100 (3), 1998, pp. 545-546 (with Robin Boadway and Maurice Marchand).
- * "Information Acquisition and Government Intervention in Credit Market," *Journal of Public Economic Theory*, 1 (3), July 1999, pp. 283-308 (with Robin Boadway).
- * "Agency and the Design of Welfare Systems," *Journal of Public Economics*, 73 (1), July 1999, pp. 1-30 (with Robin Boadway and Nicolas Marceau).
- * "Fiscal Externalities and Efficient Transfers in a Federal System," *International Tax and Public Finance*, 7 (2), March 2000, pp. 119-139.
- * "The Optimality of Punishing Only the Innocent: The Case of Tax Evasion," *International Tax and Public Finance*, 7 (6), December 2000, pp. 641-664 (with Robin Boadway).
- * "Ex ante Free Mobility, Ex Post Immobility and Time Consistency in a Federal System," *Journal of Public Economics*, 82 (3), December 2001 (with Kiyoshi Mitsui).
- * "Intergovernmental Transfers, Governance Structure and Fiscal Decentralization," *Japanese Economic Review*, 53 (1), 2002, pp. 55-76.
- * "Economic Integration and Fiscal Decentralization," *Journal of Public Economics*, 87 (11), 2003, pp. 2507-2525 (with Manuel Leite Monteiro).
- * "Tax Competition, Rent Seeking and Fiscal Decentralization," *European Economic Review*, 47, February 2003, pp. 19-40.
- * "Prior health expenditures and risk sharing with insurers competing on quality," *Rand Journal of Economics*, 34 (4), December 2003, pp. 647-669 (with Maurice Marchand and Erik Schokkaert).
- * "Can Partial Fiscal Coordination be Welfare Worsening? A model of tax competition," *Journal of Urban Economics*, 54, 2003, pp. 451-458 (with Maurice Marchand and Pierre Pestieau).
- * "An Optimal Contract Approach to Hospital Financing," *Journal of Health Economics*, 23, 2004, pp. 85-110 (with Robin Boadway and Maurice Marchand).

- * "Decentralization and Economic Development: An Evolutionary Approach," *Journal of Public Economic Theory*, vol. 7, Issue 3, August 2005, pp. 497-520.
- * "PAYG pension systems with capital mobility," *International Tax and Public Finance*, Vol. 13 (5), 2006, pp. 587-599 (with Pierre Pestieau, Gwanaël Piaser).
- * "Long Term Care: The State, the Market, and the Family," *Economica*, Vol. 75, Issue 299, August 2008, pp. 435-454 (with Pierre Pestieau).
- * "Longevity, Health Spending and Pay-as-you-Go Pensions," *Finanz Archiv*, Vol. 64, Issue 1, 2008, pp. 1-18 (with Pierre Pestieau, Gregory Ponthiere).
- * "Bureaucratic Advice and Political Governance," *Journal of Public Economic Theory*, Volume 10, Number 4, August 2008, pp. 503-527 (with Robin Boadway).
- * "Too big or too small? A synthetic view of the commitment problem of interregional transfers," *Journal of Urban Economics*, Vol. 64, Issue 3, November 2008, pp. 551-559 (with Nobuo Akai).
- * "Optimal Tax Design and Enforcement with an Informal Sector," *American Economic Journal.Economic Policy*, Vol. 1, Issue 1, February 2009, pp. 1-27 (with Robin Boadway).
- * "Entrepreneurship and Asymmetric Information in Input Markets," *International Tax and Public Finance*, forthcoming (with Robin Boadway).
- *「応益課税としての固定資産税の検証」(宮崎智視との共著)『経済分析』,近刊。
- *「首都直下地震がマクロ経済に及ぼす影響についての分析」(小黒一正との共著)『経済分析』,近刊。

[その他論文]

- 「ソフトな予算制約と税源委譲の経済効果」井堀利宏,岡田章,伴金美,福田慎一編『現代経済学の潮流 2001』第4章,2001年10月,71-109頁。
- 「地方自主財源の拡充と財政責任の確立―共有税構想(試案)―」『エコノミックス』Vol. 4,2001 年 4 月。
- 「地方交付税の改革—線形移転制度の提案—」(田近栄治,油井雄二との共著)『税経通信』第 56 巻第 13 号, 2001 年 10 月, 25-43 頁。
- 「地方交付税に潜むインセンティブ効果―フロンティア費用関数によるソフトな予算制約問題の検証」(赤井伸郎,山下耕治との共著)『フィナンシャル・レビュー』第61号,2002年。
- 「地方税の諸問題と分権的財政制度のあり方」『フィナンシャル・レビュー』第65号,2002年。
- 「地方法人税改革」。フィナンシャル・レビュー』第 69 号 , 2003 年 12 月。
- 「保険者機能と管理競争—オランダの医療保険制度改革を例に」国立社会保障・人口問題研究所編『選択の時代の社会保障』(東京大学出版会)第 10 章, 2003 年 5 月, 207-230 頁。
- 「地方分権の政治経済学」土居丈朗編著『地方分権改革の経済学』(日本評論社)第 1 章,2004 年,37-96 頁。
- 「地方分権を巡る誤解:地方財政理論に基づ〈分権化の再検証」『ファイナンス』2004年5月号(財務省広報)。
- 「地方の自立と財政責任を確立する地方税制改革へ向けて」『フィナンシャル・レビュー』第76号,2005年5月。
- 「保険者機能と管理競争: ガヴァナンス改革の観点からの分析と提言」田近栄治·佐藤主光編著 『医療と介護の世代間格差』(東洋経済新報社),2005 年 8 月。
- 「災害時の公的支援に対する経済学の視点」「会計検査院研究」第32号,2005年9月,33-50頁。
- 「地方分権と医療保険制度改革」『病院』2005年9月号,特集:地方分権と医療。
- 「政府間財政関係の政治経済学」『フィナンシャル・レビュー』第82号,2006年5月。

- "Limiting the number of charities," CORE Discussion Papers 2006/75, 2006 (with Pierre Pestieau).
- "Entrepreneurship and Asymmetric Information in Input Markets," Queen's University, Department of Economics, Working Papers 1069, 2006 (with Robin Boadway).
- "Estate Taxation with Both Accidental and Planned Bequests," CESifo Working Paper Series No. 1799, 2006 (with Pierre Pestieau).
- "Political Economy of Grants," Boadway, R. and A. Shah ed., *Intergovernmental Fiscal Transfers*, the World Bank 2007.
- 「医療保険制度改革の課題」『会計検査院研究』第35号,2007年,7-25頁。
- 「医療保険制度改革と管理競争:オランダの経験に学ぶ」。会計検査院研究』第36号,2007年,41-60頁。
- 「地方の自立と地方税の課題」地方法人課税を中心に」『税務弘報』2007年4月号。
- 「政府間財政移転の経済分析」貝塚啓明編著『分権化時代の地方財政』(中央経済社)第5章,2008年。
- 「各国医療保険制度-保険者改革への含意」田近栄治・尾形裕也編者『次世代型医療制度改革』(ミネルヴァ 書房)第3章,2009年。
- 「地方分権と地方税のあり方」土居丈朗編『日本の税をどう見直すか』(日本経済新聞出版社)第 5 章,2010年。
- 「地震保険加入行動におけるコンテクスト効果について」(齊藤誠との共著) Discussion Papers No. 2010-12, Graduate School of Economics, Hitotsubashi University, 2010 年 10 月。
- 「地域主権と地方法人課税―神奈川県臨時特例企業税を例に」『税務弘報』2010年 10 月号。
- 「消費税と財政再建」『税研』(財団法人日本税務研究センター)第 154 号,2010 年 11 月。
- 「所得税・給付つき税額控除の経済学:「多元的負の所得税」の構築」『フィナンシャル・レビュー』特集:税制改革議論—OECD の議論やマーリーズ・レビューを踏まえて— , 近刊。

[研究会・シンポジウム報告書]

- 「地方の税源委譲に関する一考察」『地方財政をめぐる諸問題』(金融調査研究会)第 3 章,2001 年 10 月,37-80 頁。
- Decentralization and Economic Development: An Evolutionary Approach: in Proceedings for International Symposium "Decentralization and Economic Development in Asian Countries," 2000 (with S. Yamashige).
- Intergovernmental Transfers in Japan and Soft Budgets: in Proceedings for International Symposium "Intergovernmental Transfers in Asian Countries: Practice and Issues," 2001 (with N. Akai and K. Yamashita).
- Overview: in Proceedings for International Symposium "Pension Reforms in Asian Countries," 2002.
- Fiscal Decentralization in Asia Revisited: Theoretical Foundation; in Proceedings for International Symposium "Fiscal Decentralization in Asia Revisited," 2004.
- Tax Policy and Reform in Asian countries, Journal of Asian Economics Vol. 16 (6), December 2005.
- Fiscal Reconstruction: Fiscal Decentralization and Reform of Intergovernmental Relations, 内閣府経済社会総合研究所 2006 年度国際共同研究プロジェクト研究報告書, 2007 年。
- 「経済学の視点を導入した災害政策体系のあり方に関する研究会」報告書(内閣府経済社会研究所), 2009年6月。
- マーリーズ・レビュー研究会報告書(財団法人企業活力研究所),2010年6月。
- 「給付付き税額控除」『税制抜本改革と実現後の経済・社会の姿 報告書』(21 世紀政策研究所)第 4 章,

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告·招待講演には*)

- "Limiting the Number of Charity," International Institute of Public Finance, Cyprus, August 2006.
- "Optimal Tax Design and Enforcement with an Informal Sector," International Institute of Public Finance, Warwick, August 2007.
- 「グローバル化と税制」公共政策国際コンファランス,関西社会経済研究所,2008年4月19-20日。
- "Estate Taxation with Both Accidental and Planned Bequests," International Institute of Public Finance, Maastricht, August 2008.
- "Entrepreneurship and Asymmetric Information in Input Markets," Hong Kong Economic Association,四川省 成都,2008年12月15-16日。
- "Ethical Voting and Political Competition," International Institute of Public Finance, Uppsala, August 2010.
- * "Restructuring of corporate income tax: lessons from Mirrlees review and practices on tax reform," Lecture series Max Planck Research Center for Tax Law and Public Finance, Munich, Germany, October 2010.
- "A simple dynamic decentralized leadership model with local borrowing regulation and free mobility," International symposium on New issues on fiscal federalism and tax competition, Lyon, France, November 2010.

(b) 国内研究プロジェクト

- 「現代経済システムの規範的評価と社会的選択」21 世紀 COE プログラム, 研究メンバー(研究代表者: 鈴村興太郎), 2003 2007 年度。
- 「アジアの税財政改革:少子高齢化とグローバル化への対応」科学研究費補助金基盤研究(A),研究分担者 (研究代表者:田近栄治),2005 - 2007 年度。
- 「社会科学の高度統計·実証分析拠点構築」グローバル COE プログラム,事業推進担当者(拠点リーダー:深 尾京司),2008 年度 - 。
- 「高質の住宅ストックを生み出し支える社会システムの設計」近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業,メンバー(代表:齊藤誠),2008年度 。

(c) 国際研究プロジェクト

「平成 18 年度 少子高齢化の下での持続的成長と財政再建」内閣府経済社会総合研究所国際共同研究プロジェクト,リーダー(国と地方の財政制度改革),2006 年度。

(d) 研究集会オーガナイズ

- COE/RES 医療経済セミナー「アジアの医療制度改革」 一橋大学, 2007 年 7 月 28 日。
- COE 国際シンポジウム "Tax Reform in Globalization Era: World Trend and Japan's Choice" 邦題「グローバル 経済における税制改革: 世界の潮流と日本の選択」東京ステーションコンファレンス・経団連会館, 2008 年2月22-23日。

C. 受賞

- "C. A. Curtis"賞(クイーンズ大学経済学部) (博士論文"THREE ESSAYS ON FISCAL FEDERALISM AND FISACL DECENTRALIZATION"に対して) 1999年。
- 日経・経済図書文化賞, NIRA 大来政策研究賞, 租税資料館賞(いずれも『地方交付税の経済学』(有斐閣) に対して)2004 年。

6. 学内行政

(b) 学内委員会

Hitotsubashi Journal of Economics 編集委員(2002 年度 -)

「一橋経済学」編集委員

学部教育専門委員(2007 - 2008 年度)

オープンキャンパス実施専門委員会委員(2008年度)

■ 7. 学外活動

(a) 他大学講師等

日本医科歯科大学

放送大学(財政学担当)

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会

日本財政学会(雑誌『財政研究』編集委員)

Journal of Public Economics 編集委員(Associate Editor)

国際財政学会(Board Member)

■8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

「地方分権に関する基本問題についての調査研究会」委員(総務省・財団法人自治総合センター)

国家公務員採用 種試験専門試験(記述式)試験専門委員(公共政策),人事院

会計検査院特別研究官(2005 - 2006年度)

21世紀政策研究所「あるべき税制に関する委員会」委員

「政策評価・独立行政法人評価委員会」臨時委員(総務省行政評価局)

「地方公共団体向け財政融資に関するワーキングチーム」委員・副座長(財務省理財局)

政府税制調査会専門委員(-2009年度)

内閣府「地域モデル研究会」委員(2008年度)

経済産業省「経済社会の持続的発展のための企業税制改革に関する研究会」委員(2008年度)

立川市行財政問題審議会員(副座長)

「災害政策体系のあり方に関する研究会」委員・座長(内閣府経済社会総合研究所)(2008年度)

内閣府·民間資金等活用事業推進委員会委員(2009 年度 -)

国土交通省政策評価レビュー委員(2009年度 -)

企業活力研究所「マーリース研究会」委員(2009 - 2010 年度)

RIETI 産業政策検討会委員(2010年度 -)

■ 9. 一般的言論活動

- 「交付税は財政調整に特化·補助金で財源保障,機能分離の視点を明確に」『日本経済新聞』経済教室, 2006年6月13日。
- 「地方分権「三位一体の改革」はどこへ行〈」『経済セミナー』特集:「ポスト小泉」の日本経済,日本評論社, 2006年10月。
- 「ふるさと納税導入の是非(上)格差是正策として不適切」『日本経済新聞』経済教室,2007年5月29日。
- 「必要なのは効率化への手当て」月刊誌『改革者』(政策研究フォーラム)2009年1月号。
- 「日本の競争力アップは法人税の抜本改革で」月刊『公明』2010年 10 月号。
- 「我が国の財政危機―その現状と克服―」蔵前工業会(東京工業大学)セミナー講演,2010年11月。